

D V 県民アンケートの実施

1. 調査目的

県民のDVに関する意識、被害等の経験の状況、ニーズ等を把握・分析することにより、今後、県や関係機関等が重点的に取り組むべき事項を明確化し、現在、策定中の「奈良県配偶者等からの暴力防止及び被害者支援計画（第5次）」（計画期間：令和5年度～令和9年度）に反映する。

2. 対象者

18歳以上の奈良県民 3,500人（調査票の回収目標：1,000人程度）

市町村が管理する選挙人名簿から必要数を等間隔抽出法により抽出
全市町村を対象として実施

市町村別人口比率で割り当て（最小割り当て人数を設定：35人）

3. 調査時期

令和4年10月21日(金)～11月7日(月) 約20日間

4. 調査方法

郵送による無記名アンケートによる

5. アンケートの内容

全39項目について、選択枝方式（一部、記述式）によるアンケートを実施 <別紙添付>

区 分	アンケート項目
配偶者等からの暴力に関する意識	DVの認知度、デートDVの認知度、 配偶者暴力防止法の認知度、相談窓口・相談業務の認知度、 暴力にあたる行為の認識・理由、県の取り組みの認知度
配偶者等からの暴力 【DV被害状況】	経験の有無、暴力の内容、暴力による変化、 相談先、相談しない理由、 相談窓口の改善点、別れの有無、別れなかった理由、 現在のDVの有無、DVがなくなった理由
配偶者等への暴力 【DV加害状況】	経験の有無、暴力の内容、行った理由、 現在のDVの有無、DVをやめた理由
友人や家族からのDVに関する相談	身近なDV被害者の有無、相談を受けた経験の有無、 相談を受けた経緯、相談に対する対応状況、 相談対応で参考となる事項
その他	被害者支援に重要と思う事項、相談できる人の有無、自由記載
回答者の属性	性別、年齢階層、市町村名、職業、 年収、世帯構成、結婚歴

配偶者等からの暴力に関する調査〔調査票〕

配偶者等※からの暴力に関する意識についてお伺いします。

※別居中の配偶者、事実婚、交際相手、同居していた元交際相手を含みます

問1 あなたは、「配偶者等からの暴力」(以下、「DV:ドメスティック・バイオレンス」)について、知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 言葉も、その内容も知っている
2. 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない
3. 言葉があることを知らなかった(初めて聞いた言葉である)

問2 あなたは、「交際相手からの暴力」(以下、「デートDV」)について、知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 言葉も、その内容も知っている
2. 言葉があることは知っているが、内容はよく知らない
3. 言葉があることを知らなかった(初めて聞いた言葉である)

問3 あなたは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(いわゆるDV防止法)」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

※この法律は、配偶者等からの暴力(DV)に関する相談などの体制を整備することにより、配偶者等からの暴力を防止し、被害者の保護を図るものです。

1. 法律があることも、その内容も知っている
2. 法律があることは知っているが、内容はよく知らない
3. 法律があることを知らなかった

問7 あなたは、次のようなことが夫婦の間で行われた場合、それを「暴力」だと思えますか。
 (A～Oそれぞれについて、あなたの考えに近い番号に1つずつ○)

※ここでの「夫婦」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます。

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
A. 平手で打つ	1	2	3
B. 足でける	1	2	3
C. 身体を傷つける可能性のある物でなぐる	1	2	3
D. なぐるふりをして、おどす	1	2	3
E. 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3
F. 大声でどなる	1	2	3
G. 他の異性との会話やメールを許さない	1	2	3
H. 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
I. 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1	2	3
J. 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言う	1	2	3
K. 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
L. 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
M. 家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3
N. 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
O. 避妊に協力しない	1	2	3

門8 問7において、A～Oのいずれかで「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」、「暴力にあたるとは思わない」と回答された方にお聞きします。
そのように思ったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 夫婦間ではよくあることだと思うから
2. 夫婦間では許されると思うから
3. 夫婦喧嘩の範囲だと思うから
4. 自分の考えをとおすために必要な場合があると思うから
5. 相手の間違いを正すために必要な場合があると思うから
6. 夫婦なら、相手の行動や交友関係を知るのは（知られるのは）当たり前だと思うから
7. 一家の大黒柱のすることには従うべきだと思うから
8. 愛情表現だと思うから
9. 暴力を振るわれた側にも非があったと思うから
10. その他（)

問9 配偶者等からの暴力に対して、予防・対策のために奈良県が取り組んでいることのうち、あなたが知っているものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 奈良県中央こども家庭相談センター（配偶者暴力相談支援センター）、奈良県高田こども家庭相談センター、奈良県女性センターでの相談
2. センター等でのDVからの避難のための支援
3. 中央こども家庭相談センターでのDV被害者の生活再建に向けた支援
4. DV被害者やその子ども等に対する心理的ケア
5. 女性への暴力防止に向けたセミナー
6. 高校生等を対象にしたDV予防啓発の出前授業
7. DV相談窓口周知用カードの設置
8. その他（)
9. 知らない

配偶者等からの暴力についてお伺いします。

【被害経験について】

問 10 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や交際相手などから問7のA～Oのような行為を受けた経験がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 経験あり	2. 経験なし → 問 20 へ
---------	------------------



問 11 問 10 で「1.経験あり」と回答された方にお聞きします。

相手から、どのような行為を受けた経験がありますか。

(A～Dそれぞれについて、あてはまるものに1つずつ○)

	まったく ない	1、2度 あった	何度も あった
A. 身体的暴力 (例：なぐったり、けったり、物を投げつけたり等)	1	2	3
B. 心理的攻撃 (例：人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長時間無視する等)	1	2	3
C. 経済的圧迫 (例：生活費を渡さない、外で働くことを妨害される等)	1	2	3
D. 性的強要 (例：いやがっているのに性的な行為を強要される、避妊に協力しない等)	1	2	3

問 12 問 10 で「1.経験あり」と回答された方にお聞きします。

あなたはこれまでに、相手から受けた問7または問11の行為によって、生活が変わりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 夜、眠れなくなった	9. 別居した
2. 心身に不調をきたした (具体的に)	10. 携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた
3. 医療機関を受診し、精神疾患と診断された	11. 仕事(アルバイト)をしばらく休んだ・やめた・転職した
4. 自分に自信がなくなった	12. 学校・大学をしばらく休んだ・やめた・転校した
5. 誰のことも信じられなくなった	13. 生きているのが嫌になった・死にたくなった
6. 外出するのが怖くなった	14. 加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる
7. 異性と会うのが怖くなった	15. その他 ()
8. 人づきあいがうまくいかなかった	16. 特にない

問 13 問 10 で「1.経験あり」と回答された方にお聞きします。

あなたはこれまでに、問 11 のA～Dのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 奈良県中央こども家庭相談センター（配偶者暴力相談支援センター）、奈良県高田こども家庭相談センターや、奈良県女性センターに相談した
2. 市町村窓口で相談した
3. 警察に連絡・相談した
4. 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
5. 上記（1～4）以外の公的な機関に相談した
6. 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）に相談した
7. 医療関係者（医師、看護師など）に相談した
8. 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）に相談した
9. 家族や親せきに相談した
10. 友人・知人に相談した
11. その他（)
12. どこ（だれ）にも相談しなかった → 問 14 へ

問 15 へ

問 14 問 13 で「12. どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答された方にお聞きします。

どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった | 9. 世間体が悪いと思った |
| 2. 自分が受けている行為がDVと認識していなかった | 10. 他人を巻き込みたくなかった |
| 3. 相手の仕返しが怖かった
(もっとひどい暴力や性的な画像のばらまき等) | 11. 思い出したくなかった |
| 4. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思った | 12. 自分にも悪いところがあると思った |
| 5. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから | 13. 相手の行為は愛情表現だと思った |
| 6. 他人に知られると、これまで通りの付き合い(仕事などの人間関係)が出来なくなると思った | 14. 相談するほどのことではないと思った |
| 7. 恥ずかしくて言えなかった | 15. コロナ禍で相手が家におり、相談したくてもできなかった |
| 8. 相談しても無駄だと思った | 16. その他 () |

問 18 問 10 で「1.経験あり」と回答された方にお聞きします。

あなたは、相手から、現在も、問 11 のA～Dのような行為を受けていますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 現在は、受けていない

2. 現在も、受けている → 問 20 へ



問 19 問 18 で「1.現在は受けていない」と回答された方にお聞きします。

問 11 のA～Dのような行為を受けなくなった理由は何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 相手と別れ（離婚し）たことで、
会うことがなくなった

2. 警察に被害届を提出した

3. 一時期、距離を置いた

4. 親族・知人が仲裁に入った

5. 奈良県中央こども家庭相談センター

(配偶者暴力相談支援センター)、

奈良県高田こども家庭相談センターや、
奈良県女性センターへ相談した

6. その他

7. 特に理由はない

【加害経験について】

問 20 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や交際相手に対して、問 7 の A～O のような行為を行った経験がありますか。(あてはまるもの 1 つ に○)

1. 経験あり

2. 経験なし → 問 25 へ

問 21 問 20 で「1.経験あり」と回答された方にお聞きします。

相手に対して、具体的にどのような行為を行いましたか。(あてはまるもの すべて に○)

1. 平手で打つ
2. 足でける
3. 身体を傷つける可能性のある物でなぐる
4. なぐるふりをして、おどす
5. 刃物などを突きつけておどす
6. 大声でどなる
7. 他の異性との会話やメールを許さない
8. 何を言っても長期間無視し続ける
9. 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する
10. 「誰のおかげで生活できているんだ」とか、「かいしょうなし」と言う
11. 家計に必要な生活費を渡さない
12. 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する
13. 家族や友人との関わりを持たせない
14. 嫌がっているのに性的な行為を強要する
15. 避妊に協力しない
16. その他 ()

問 22 問 20 で「1.経験あり」と回答された方にお聞きします。

あなたが、問 21 で選択したような行為を行った理由またはきっかけは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. ついカッとなってやってしまった
2. 相手の間違いを正そうとした
3. 仕事や日常生活のストレスが溜まっていた
4. 酒を飲んでいて
5. 相手が自分に対して危害を加えてきたので身を守ろうとした
6. 相手がそうされても仕方のないことをした
7. 親しい関係のためこうした行為は当然のことだと思っていた
8. コロナ禍の影響で、家にいる機会が増えた
9. その他 (
10. 特に理由はない

問 23 問 20 で「1.経験あり」と回答された方にお聞きします。

あなたは、現在も、問 21 で選択したような行為を行っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. <u>現在は、行っていない</u> | 2. 現在も、行うことがある → 問 25 へ |
|----------------------|-------------------------|



問 24 問 23 で「1.現在は、行っていない」と回答された方にお聞きします。

問 21 で選択したような行為を行わなくなった理由は何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 相手と別れ（離婚し）たことで、会うことがなくなった
2. 警察に被害届が提出された
3. 一時期、距離を置いた
4. 親族・知人が仲裁に入った
5. 奈良県中央こども家庭相談センター（配偶者暴力相談支援センター）、奈良県高田こども家庭相談センターや、奈良県女性センターへ被害者が相談した
6. その他 ()
7. 特に理由はない

友人や家族などからのDVに関する相談についてお伺いします。

問 25 あなたの家族、親戚、友人、知人など身近な人の中で配偶者や交際相手から問 7 の A～O のような行為を受けている人、もしくは過去に受けた人はいますか。

(あてはまるもの 1 つに○)

1. いる

2. いない →問 30 へ

問 26 問 25 で「1.いる」と回答された方にお聞きします。あなたは、問 7 の A～O のような行為を受けている人から、相談を受けたことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. ある

2. ない →問 30 へ

問 27 問 26 で「1.ある」と回答された方にお聞きします。

あなたが、相談を受けるに至った経緯についてご記入ください。(自由記入)

問 28 問 26 で「1.ある」と回答された方にお聞きします。あなたが、相談を受けた後にとった行動についてお答えください。(あてはまるもの すべて に○)

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1. 加害者に暴力をやめるように話をした | 7. 被害者の保護や、家を出ることを援助した |
| 2. 市町村に相談した | 8. トラブルに巻き込まれなかったため、何もしなかった |
| 3. 警察に相談または通報した | 9. 他人のことなので口出しすべきではないと思い、何もしなかった |
| 4. 被害者と一緒に病院や相談機関に行った | 10. どう対応してよいか分からず、何もできなかった |
| 5. 被害者に相談機関などを紹介した | 11. 何もする必要がないと思った |
| 6. 被害者に我慢するように話をした | 12. その他 () |

問 29 問 26 で「1.ある」と回答された方にお聞きします。あなたは、相談を受けて、アドバイスや対応などをするために参考としたものはありますか。(あてはまるもの すべて に○)

1. 相談窓口
2. DVに関する講座・セミナー
3. 被害経験者の意見
4. DVに関するパンフレット・書籍等
5. DVに関するインターネットによる情報
6. その他 ()

その他

問 30 配偶者などからの暴力を受けた被害者への支援について、どのようなことが重要と思われますか。(あてはまるものをすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 地域の中で身近に相談できる窓口 | 9. 一時的に加害者から逃れられる場 |
| 2. 夜間や休日など、いつでも相談できる窓口 | 10. 加害者から離れて暮らすための住宅の確保 |
| 3. 同性の相談員など、相談しやすい窓口 | 11. 加害者から離れて暮らすための経済的な支援 |
| 4. 法律の制度などの専門的な相談窓口 | 12. 就業支援 |
| 5. 同じような悩みを抱えた人たちと話せる場 | 13. 警察官などによる介入 |
| 6. 心のケアのためのカウンセリング | 14. 加害者への更生に向けた働きかけ |
| 7. 子どもの心のケア | 15. その他 () |
| 8. 子どもの保育や教育への支援 | |

問 31 あなたは、悩みや心配事（DVにかかわらず）があるとき、身近に相談ができる人がいますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 身近に相談できる人がいる | 2. 身近にはいないが相談できる人がいる |
| 3. 相談できる人はいない | 4. わからない |

問 32 配偶者等からの暴力について、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。
(自由記入)

あなたのことについてお伺いします。

問 33 あなたの性別についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 男性 2. 女性

問 34 あなたは、令和4年10月1日現在の時点でおいくつですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

問 35 あなたがお住まいの市町村名についてお答えください。(市町村名を記入)

問 36 あなたの職業についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 勤め人(常勤) 5. 専業主婦・主夫
2. 勤め人(パートタイム・アルバイトなどの非常勤) 6. 無職
3. 自営業(事業の経営者・家業の手伝い・内職など) 7. その他()
4. 学生

問 37 あなたご自身の令和3年中(令和3年1月1日～12月31日)の年間収入(税込)はいくらですか。年金や資産収入などの収入も含めてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 100万円未満 6. 800～1,000万円未満
2. 100～200万円未満 7. 1,000～1,500万円未満
3. 200～400万円未満 8. 1,500万円以上
4. 600～800万円未満 9. 収入なし
5. 600～800万円未満 10. わからない

問 38 あなたと同居している人は誰ですか。あなたからみた続柄を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

※選択肢 3 番・4 番・9 番・10 番・12 番の () 内には、具体的な人数もご記入ください。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 夫または妻 (事実婚を含む) | 7. 義父 |
| 2. パートナー (交際相手など親密な関係にある者) | 8. 義母 |
| 3. 子ども (人) | 9. 祖父母 (人) |
| 4. 孫 (人) | 10. 兄弟・姉妹 (人) |
| 5. 実父 | 11. 一人暮らし |
| 6. 実母 | 12. その他 (人) |

問 39 あなたは、現在、結婚していますか。(あてはまるもの1つに○)

※ここでの「結婚」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含みます。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 未婚 (結婚したことはない) | 2. 既婚 (現在、夫または妻がいる) |
| 3. 離別・死別 (結婚していたが、離婚・死別した) | |

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～